



再選めざす 日本共産党 そねはじめレポート

2010年 4月9日発行 第12号

そねはじめ事務所
114-0003
北区豊島 2-8-4
Tel: 3914-1995
Fax: 3914-5400

自民党・みんなの党・民営化推進派の妨害許さず4月中に 北社保病院公的存続へ法案修正・審議入りを早く！

国会では、米軍普天間基地移転や後期高齢医療制度廃止など民主党の公約が次々投げすてられ有権者の怒りと失望が広がっています。

一方で野党となった自民党から憲法九条改定と消費税増税の急進派が飛び出すなど二大政党づくりが破綻しつつあります。

●「国に戻すな」「売却しろ」の逆流が

このなかで公的存続法案が出ている社会保険病院について、野党に転落した自民党やみんなの党、民主党内部にまで動揺と逆流が広がり今国会での法案成立があやうくなりつつあります。

●渡辺喜美議員が推進機構に反対 昨年11月4日の予算委員会ではみんなの党・渡辺喜美議員が社会保険病院の受け皿となる

「地域医療機能推進機構」を「こういうのは非常におかしい。地方に移管するのがスジ」「何で国が新たな独立法人を作るのか」などと嘯み付きました。

●自民党議員も区議会とあべこべの態度 今年3月の厚労委員会では自民党の衛藤参院議員が社会保険病院を売却し保険財政に返還せよ」と迫っています。

●長妻大臣まで大後退の答弁 これに対し長妻厚労大臣の答弁は「整理機構RFOに社会保険病院の売却を指示している。売れ残った場合には病院機能を維持するために独法（地域医療推進機構）に移す。その後も自治体等に売却できる所があれば行う」と驚くべき答弁をしています。「公的存続・拡充を求める」とした北区議会の全会一致の決議に反し、社会保険病院問題を与野党の政争の具としたり、小泉時代の民営化路線に引き戻そうとする各党の態度は絶対許せません。

●法案早期成立へ全力

日本共産党の高橋千鶴子衆議員と小池あきら参議員は、北区の社会保険病院の地域医療振興協会委託の医療体制を維持・拡充できるよう現法案に最小限の修正を行い、何としても4月中に審議に入り早期成立を図るよう全力で取り組んでいます。（写真は病院を拡充させる会で発言するそねはじめ前都議）



駒込病院でも民間まかせで混乱 都立直営病院にもとすべき

都立駒込病院はPFI（経営部門を三菱商事に移管）スタートから1年。ボイラーや清掃の不備、医療機材不足など続いています。

都の委託だった清掃や給食職員を三菱が下請けで安く働かせ時給八百円ほどの低賃金です。

都立病院の職場で、ともに暮らせないワーキングプアを新たに作り出すようなやり方では、患者の命を預かる医療の質も守れないのではないのでしょうか。